

TOPIC

13

町の魅力を
町内・町外へ伝える12
14

白糠高校で商品開発授業

白糠高校（田村信明校長）では、商業科で簿記を選択している5人の生徒が、地元食材を使った商品開発の授業を行いました。この日は、ファームレストランクオーレの漆崎雄哉シェフを招き、アドバイスを受けながら生徒たちがそれぞれ考えた料理を試作しました。“しそ香る鹿カツ・ミルフィーユ”を試作した竹田花音さん（3年）は「火を通したシカ肉は冷めると固くなってしまいますので、冷めてもおいしく食べられるようミルフィーユカツにしました」と話していました。



漆崎シェフからアドバイスを受ける竹田さん



施設の前で行われたテープカット。右から2人目が橋本会長

TOPIC

14

念願の
グループホーム開所12
15

障がい者GH「くろーばー」開所式

NPO法人白糠手をつなぐ育成会（橋本房恵会長）が運営する知的障がい者グループホーム「くろーばー」の開所式が、建設地である西庶路西1条北1丁目1番地23で行われました。

施設は木造平屋建て延床面積140.77㎡。定員7人で各部屋のほか、リビングや浴室等が整備されています。

開所式では、橋本会長が「知的障がい者が地域で暮らせる環境を祈願して20年。やっとその夢が現実となりました。皆さまに感謝します」とあいさつしました。

TOPIC

15

タイとベトナムを学ぶ

12
16

久遠塾「地理っ子クラブ」

久遠塾の「地理っ子クラブ」が公民館3階の同塾で開催され、白糠高校の生徒など19人が参加しました。

今回は、2019年に町の「青年就業者海外等研修事業」でタイとベトナムに行ったメンバー4人が講演。写真や動画を使って現地での様子を話しました。また、講演の最後には、タイで食べたというグリーンカレーが振る舞われました。芳澤真瞳さん（2年）は「文化の違いを知り、またカレーを食べて食の違いを実感しました。外国をもっと学びたい」と話していました。



青年就業者海外等研修事業に参加した5人のうち4人が講演